

地域を魅力的にデザインし、観光産業を活性化する！

令和3年度（2021年度）

観光産業の中核を担う 経営人材育成講座

趣 旨

今年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産として登録され、知床に次ぐ道内2例目の世界遺産が誕生しました。世界文化遺産登録は、観光産業の中核人材の方々にとって、新たな観光需要が生まれるビジネスチャンスの機会です。

そこで、今回の世界文化遺産登録による観光活性化の期待と機会を観光産業の方々が有効活用できるよう人材育成講座を開催いたします。講座では、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」について学び、地域の観光振興、地域づくりの取り組みやブランディング（ブランド価値の向上）に関する講義により今後の観光活性化を牽引できるような学習機会を提供します。

目 的

世界文化遺産や地域の観光振興、地域づくりの取り組みについて学びを深め、観光活性化における戦略やマーケティング理論を基に、最終的に受講者自身の今後の取り組みをまとめ、北海道の観光資源を活用した未来志向の企画ができる観光産業の中核人材の育成を目指します。

受講対象者

北海道の観光資源を活かし、with/ アフターコロナ時代の観光活性化を担える、観光産業の将来を担う幹部候補の方々
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、北海道及び青森県内在住の方を想定しています。

募集定員

20 名程度

受講日程及び 開催場所

- 第1ターム：令和3年10月27日（水）～28日（木） 函館アリーナ 多目的会議室 A
- 第2ターム：令和3年11月08日（月）～09日（火） サン・リフレ函館 大会議室
- 第3ターム：令和3年12月07日（火） 金森ホール

講義分野

- 第1ターム：世界文化遺産登録と地域の観光振興
- 第2ターム：経営戦略、マーケティングとビジネスプランニング
- 第3ターム：最終発表会及び討論会

受講料

無料
※受講動機や各講座に対する受講アンケート、大学との産学官連携に関するアンケートへご協力願います。

特 徴

第1ターム

- 世界文化遺産・熊野古道など観光資源活用先進事例や、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値、津軽海峡まぐろ女子会による観光地域づくりの取り組み等に関する学びを通じて、今後の観光地経営の在り方や地域の観光資源を活かした観光振興を考える。

第2ターム

- 函館バル街による地域づくりの事例、インバウンドの最新動向と今後の可能性等について学びを深める。地域の課題を交えながら、青函での広域観光と地域づくりを考える講演も用意し、まとめとして、マーケティング理論に関する講演とビジネスプランニングの講義・演習を通して、経営理論をふまえて観光資源を活用したビジネス展開の手法を学ぶ。

第3ターム

- 本プログラムの学びをふまえたアウトプットの機会として、最終発表会を行い、各自が検討を重ねたビジネスプランを発表する。

プログラム一覧（予定）※新型コロナウイルスの状況により、オンライン開催に変更となる場合があります。

第1ターム：世界文化遺産登録と地域の観光振興 会場：函館アリーナ 多目的会議室A		
10/27 (水) 13:00-17:00	主催者挨拶 (13:00-13:05)	国立大学法人小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門 部門長・特任教授 李済民
	オリエンテーション (13:05-13:10)	
	講演 世界文化遺産・熊野古道に観光客を呼び込む着地型観光の取り組み (13:10-14:20)	一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長 多田 稔子 氏
	講演 北海道・北東北の縄文遺跡群と観光資源としての活用 (14:30-15:40)	北海道環境生活部文化局文化振興課縄文世界遺産推進室 特別研究員 阿部千春 氏
10/28 (木) 13:00-17:00	講演 縄文文化とアドベンチャートラベル (15:50-17:00)	北海道運輸局 観光部長 水口 猛 氏
	フォローアップ (13:00-13:05)	
	講演 観光地経営 (13:05-14:15)	国立大学法人和歌山大学 観光学部観光学科 教授 出口 竜也 氏
	講演 津軽海峡まぐろ女子会による地域の魅力発信と観光地域づくり (14:25-15:35)	温泉旅館矢野 代表取締役社長兼女将 杉本 夏子 氏
11/08 (月) 13:00-17:00	講演 地域資源から考える青函・道南の観光マーケティング (15:45-16:55)	国立大学法人小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 内田 純一
	フォローアップ (16:55-17:00)	
	講演 料理を通じた地域づくり (13:05-14:15)	レストランバスク オーナーシェフ 深谷 宏治 氏
	講演 北海道・函館におけるインバウンドの動向と可能性 (14:25-15:35)	レインボウバプリシング株式会社 代表取締役 川端 祥司 氏
11/09 (火) 13:00-17:00	講演 青函での広域観光と地域づくり (15:45-16:55)	学校法人青森山田学園 青森大学 社会学部 教授 櫛引 素夫 氏
	フォローアップ (16:55-17:00)	
	講演 市場志向と地域ブランディング (13:05-14:15)	国立大学法人小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 猪口 純路
	講演 ビジネスプランニングの基礎 (14:25-15:35)	北海道四季経営株式会社 代表取締役 小室 陽介 氏
12/07 (火) 10:00-17:35	発表会 受講者によるビジネスプラン発表 (10:05-17:20)	国立大学法人小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門 副部門長・教授 北川 泰治郎
	修了式 (17:20-17:35)	
第3ターム：最終発表会及び討論会 会場：金森ホール		

講師一覧

 レストランバスク オーナーシェフ ふかや こうじ 深谷 宏治 氏	 一般社団法人田辺市 熊野ツーリズムビューロー 会長 おた のりこ 多田 稔子 氏	 温泉旅館矢野 代表取締役社長兼女将 すぎもと なつこ 杉本 夏子 氏
 レインボウバプリシング株式会社 代表取締役 かわばた しゅうじ 川端 祥司 氏	 国立大学法人和歌山大学 観光学部観光学科 教授 でぐち たつや 出口 竜也 氏	 学校法人青森山田学園 青森大学社会学部 教授 くしひさき もと お 櫛引 素夫 氏
 北海道環境生活部文化局文化振興課 縄文世界遺産推進室 特別研究員 あべ ち はる 阿部 千春 氏	 北海道運輸局 観光部長 みずき たいし 水口 猛 氏	 北海道四季経営株式会社 代表取締役 こむろ ようすけ 小室 陽介 氏
 国立大学法人 小樽商科大学 特任教授 リ ジェミン 李 済民	 国立大学法人 小樽商科大学 教授 うちだ じゅんいち 内田 純一	 国立大学法人 小樽商科大学 教授 いのくち じゅんじ 猪口 純路
	 国立大学法人 小樽商科大学 教授 きたがわ たい じろう 北川 泰治郎	

受講場所

第1ターム

函館アリーナ 多目的会議室 A

(市電、バス「函館アリーナ前」より徒歩3分)

函館市湯川町1丁目32番2号



第2ターム

サン・リフレ函館 大会議室

(JR 函館駅より徒歩15分、バス「サン・リフレ函館前」徒歩1分)

函館市大森町2番14号



第3ターム

金森ホール

(JR 函館駅より徒歩15分、市電「十字街」より徒歩5分)

函館市末広町14番12号



申込み方法 応募締切日：令和3年(2021年)10月8日(金曜日)

- ①下記、URL または QR コードから本学講座案内ページにアクセス頂き、「受講申込書」のダウンロードをお願いいたします。

URL https://www.otaru-uc.ac.jp/cgs_news/173099/

ブラウザからは **小樽商科大学 観光講座** **検索**



- ②「受講申込書」に必要事項をご入力の上、上記期限までにメールにてお申込みください。

E-mail cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp

※お申込みされてから、1週間経過しても連絡がない場合、お問合せください。

- ③本学より「受講決定通知」をお送りいたします。

応募者多数の場合は、選考をさせていただく場合があります。ご了承ください。

注意事項

- ①本人以外の受講はお断りいたします。
②講師、講義内容、日程に変更が生じる場合があります。ご了承ください。

個人情報の取扱い

- ①受講申込みの際にお預かりした個人情報は、講座の実施や本学が開催するイベントの案内、および調査統計に利用いたします。法令に基づき開示することが必要となる場合を除き、第三者への提供は致しません。
②本講座の広報等のため、写真撮影のご協力をお願いする場合があります。

新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策として、衛生管理を徹底して開催いたします。
感染拡大防止のため、会場でのマスク着用、手洗い・消毒等のご協力をお願い致します。
状況により、オンライン開催となる場合がございます。

お問合せ先

国立大学法人 小樽商科大学

グローバル戦略推進センター 産学官連携推進部門

観光産業の中核を担う経営人材育成講座事務局

TEL 0134-27-5499

E-mail

FAX 0134-27-5293

cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp



国土交通省

観光庁

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/>



国立大学法人

小樽商科大学

<http://www.otaru-uc.ac.jp>